

## 2017年度 第3回 CPC研究会

日時：7月21日（金）13:30～16:30

会場：連合会館 201 会議室

（〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771）

参加費：維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝20,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

### 「負極用炭素材料の構造解析」

大阪ガス株式会社 藤本 宏之 氏

- 1) 炭素の熱処理温度と放電容量の関係
- 2) 結晶子サイズと放電容量の関係
- 3) 黒鉛化度と放電容量の関係
- 4) 乱層構造炭素の電気化学特性
- 5) 二次元解析法

1991年にリチウムイオン電池が商品化されて以来、負極用炭素材料の開発が活発に行われました。その結果、炭素層間へのインターカレーションに関する多くの知見が見いだされ、炭素の構造解析技術が進歩しました。本講演では、こうした炭素構造解析技術の進歩について時系列的に整理して紹介いたします。

15:05～16:30

### 「分子ナノカーボンの空間化学とその応用」

名古屋大学 坂本 裕俊 氏

- 1) 多孔性材料とは
- 2) 分子ナノカーボンとは
- 3) 分子ナノカーボンを空間材料として用いた研究例

「分子レベルで思い通りの構造の炭素材料をつくる」、炭素研究者が一度は夢見ることではないでしょうか？我々は「分子ナノカーボン」で、その夢の実現を目指します。この言葉は「ナノカーボンの構造をもつ分子」と定義され、最近巷を賑わせた「カーボンナノベルト」もこれに含まれます。これらを有機合成の手法で合成し、応用することが、我々のミッションです。私は特に分子ナノカーボンの「空間」に着目して研究を進めており、これに関連する背景と成果を紹介いたします。

---

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org) または FAX: 029-861-8712

7月21日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: